

科目名	小児看護学概論		履修年次	1 年次
科目区分	専門分野	単位数(時間)	1 単位 (30 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 健康な子どもの身体的・心理的・社会的特徴をとらえ、保健・医療・福祉・教育における小児看護の役割と機能について理解を深める。</p> <p>目標: 1 小児看護の特徴と役割を理解できる。 2 子どもの成長・発達を理解できる。 3 子どもの身体的・心理的・社会的特徴および養育と看護を理解できる。 4 子どもを取り巻く社会を理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 小児看護の特徴と理念	2	1 小児看護の特徴と理念 (1) 小児看護の対象 (2) 小児看護の目標と役割 (3) 現代の小児医療と看護 2 子どもと家族の諸統計 (1) わが国の人口構造 (2) 出生と家族 (3) 小児の死亡 3 小児看護における倫理 (1) 倫理原則と医療現場でおこりやすい問題点		講義
2 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護	4	1 入院中の子どもと家族の看護 (1) 入院体験と子どもへの影響 (2) 入院環境と看護の役割 (3) 入院中の子どもと家族の特徴 (4) 入院中の子どもと家族の看護 2 外来における子どもと家族の看護 (1) 外来の環境と看護の役割 (2) 外来受診する子どもと家族の特徴 (3) 外来における子どもと家族の看護 3 在宅療養中の子どもと家族の看護 (1) 在宅療養の環境と看護の役割 (2) 在宅療養中の子どもと家族の特徴 (3) 在宅療養中の子どもと家族の看護 4 災害時の子どもと家族の看護 (1) 被災地の環境と看護の役割 (2) 災害時の子どもの看護の特徴 (3) 災害時の子どもと家族の看護		講義
3 子供の成長と発達	4	1 成長・発達の定義 (1) 小児看護における発達論 (2) 小児期の発達段階の区分 (3) 発達の領域 2 成長・発達の進み方		講義

		<ul style="list-style-type: none"> (1) 方向性、順序性 (2) 発達の時期 (3) 成熟と学習 3 成長・発達に影響する因子 <ul style="list-style-type: none"> (1) 遺伝的因子 (2) 環境的因子 4 成長・発達の評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 成長の評価 <ul style="list-style-type: none"> ア 身長・体重 イ 頭囲・胸囲 ウ 生歯 エ 骨の発育 (2) 発達の評価 <ul style="list-style-type: none"> ア 発達スクリーニング検査 イ 知能指数・発達指数 ウ 発達評価法 	
4 健康な子どもの生活と養護	12	<ul style="list-style-type: none"> 1 子どもの栄養の意義 2 発達段階別の子どもの栄養の特徴と養育 <ul style="list-style-type: none"> (1) 乳児期の栄養と離乳 (2) 幼児期の栄養 (3) 学童期・思春期の栄養 3 新生児・乳児期の子ども <ul style="list-style-type: none"> (1) 身体的・心理的・社会的特徴と養護 4 幼児期・学童期の子ども <ul style="list-style-type: none"> (1) 身体的・心理的・社会的特徴と養護 5 思春期・青年期の子ども <ul style="list-style-type: none"> (1) 身体的・心理的・社会的特徴と養護 	講義
5 子どもと家族を取り巻く社会	7	<ul style="list-style-type: none"> 1 子どもにとっての家族 <ul style="list-style-type: none"> (1) 家族の定義 (2) 現代家族の特徴 (3) 家族アセスメント <ul style="list-style-type: none"> ア 構造的側面・機能的側面 イ 家族発達の段階 ウ 家族の役割 エ さまざまな家族の状況 2 子どもをめぐる法律と政策 <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉 (2) 予防接種法 <ul style="list-style-type: none"> ア 予防接種と法律 イ ワクチンの種類と接種間隔 ウ 接種不相当者・接種要注意者 エ 予防接種の副反応 (3) 学校保健 <ul style="list-style-type: none"> ア 学校保健の意義と行政 イ 学校保健安全法 ウ 学校保健の現状 (4) 特別支援教育 (5) 臓器移植法 (6) 医療費の支援 	講義
試験	1		

評価方法	筆記試験
必須資料 (テキスト)	系統看護学講座 専門分野 小児看護学① 小児看護学概論・小児臨床看護総論 (医学書院) 看護のための人間発達学 (医学書院)
参考資料	・授業資料は適宜印刷のうえ、配布する。
履修上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、准看護師課程で学習している「母子看護」を既修学習として、積み上げる学習科目である。既修学習内容を復習のうえ、授業に臨むこと。 ・母性看護学や小児看護学実習Ⅰにつながる科目のため、予習のうえ、授業に臨むこと。 ・積極的な学習姿勢を望む。

科目名	小児看護学方法論 I		履修年次	1 年次
科目区分	専門分野	単位数(時間)	1 単位 (15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 子どもの健康障害の特徴と治療の理解を深める。</p> <p>目標: 1 子どもの健康障害の症状と治療を理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 子どもの健康障害	14 (2)	1 先天異常の子どもの症状と治療 (1) ダウン症候群(21トリソミー) (2) クラインフェルター症候群 (3) ターナー症候群 2 低出生体重児の疾患の症状と治療 (1) 脳室内出血 (2) 呼吸窮迫症候群 (3) 未熟児網膜症 3 代謝性疾患の子どもの症状と治療 (1) 1型糖尿病		講義
	(12)	4 免疫疾患の子どもの症状と治療 (1) 気管支喘息 5 感染症の子どもの症状と治療 (1) ウイルス感染症 (2) 細菌感染症 6 循環器疾患の子どもの症状と治療 (1) 先天性心疾患 (2) 川崎病 7 消化器疾患の子どもの症状と治療 (1) 形態異常のある疾患(口蓋裂・鎖肛) (2) 急性胃腸炎(ロタウイルス) 8 悪性新生物の子どもの症状と治療 (1) 白血病 9 腎・泌尿器疾患の子どもの症状と治療 (1) ネフローゼ症候群 10 神経疾患の子どもの症状と治療 (1) けいれん性疾患 (2) 脳性麻痺 (3) 二分脊椎 11 運動器疾患の子どもの症状と治療 (1) 先天性股関節脱臼 12 皮膚疾患の子どもの症状と治療 (1) アトピー性皮膚炎		
試験	1			
評価方法	筆記試験			

必須資料 (テキスト)	系統看護学講座 専門分野 小児看護学② 小児臨床看護各論 (医学書院)
参考資料	・授業資料は適宜印刷のうえ、配布する。
履修上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習のうえ、授業に臨むこと。 ・小児看護学実習につながる科目のため、積極的な学習姿勢を望む。 ・授業の後は復習しておくこと。

科目名	小児看護学方法論Ⅱ		履修年次	1 年次
科目区分	専門分野	単位数(時間)	1 単位 (25 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 子どもの健康障害に応じた看護を理解するとともに、子どもの特徴を踏まえて適用される基礎的看護技術を習得する。</p> <p>目標: 1 健康障害のある子どもと家族に必要な看護を理解できる。 2 子どもの健康障害時に適用される看護技術を習得できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 健康障害のある子どもと家族の看護	12 (2)	1 先天異常のある子どもと家族の看護 【染色体異常】 (1) 診断の告知を受ける家族への支援(家族の疾患の理解と受容) (2) 日常生活の指導 (3) 合併症と健康管理 2 低出生体重児と家族の看護 (1) 子宮外生活への適応の促進 (2) 成長・発達の促進 (3) 家族の支援		講義
	(2)	3 感染症の子どもと家族の看護 【ウイルス・細菌感染症】 (1) 急性期の看護 (2) 回復期の看護 4 代謝性疾患の子どもと家族の看護 【1型糖尿病】 (1) 入院中の看護 (2) 退院後の療養生活支援		
	(2)	5 循環器疾患の子どもと家族の看護: 【ファロー四徴症】 (1) 無酸素発作の予防 (2) 心臓への負担軽減 【川崎病】 (1) 急性期の看護 (2) 回復期の看護 (3) 疾患の経過に伴う継続看護(経過観察時の家族支援)		
	(2)	6 免疫疾患の子どもと家族の看護 【気管支喘息】 (1) 日常生活の援助 (2) 自己管理の促進 7 消化器疾患の子どもと家族の看護 【急性胃腸炎】 (1) 清潔ケアと感染予防 (2) 家族への指導 8 腎・泌尿器疾患の子どもと家族の看護		

		<p>【ネフローゼ症候群】</p> <p>(1) 感染予防</p> <p>(2) 日常生活の援助</p> <p>(3) 退院後の生活調整</p> <p>(4) 家族への指導</p>	
	(2)	<p>9 造血器腫瘍の子どもと家族の看護</p> <p>【白血病】</p> <p>(1) 診断告知を受ける対象への看護</p> <p>(2) 日常生活の援助</p> <p>(3) 退院後の生活調整</p> <p>(4) 再燃時の看護</p> <p>(5) 苦痛・死に対する不安の緩和</p>	
	(2)	<p>10 けいれんのある子どもと家族の看護</p> <p>(1) 服薬の支援</p> <p>(2) 発作の誘因の除去と健康管理</p> <p>11 障害のある子どもと家族の看護</p> <p>(1) 心身障害の定義と種類</p> <p>(2) 家族と子どもの障害受容</p> <p>(3) 重症心身障害児と家族</p> <p>(4) 医療的ケアを必要とする子どもと家族</p> <p>(5) 発達障害児と家族</p> <p>12 子どもの虐待と看護</p> <p>(1) 虐待の定義と特徴</p> <p>(2) リスク要因と発生予防・早期発見</p> <p>(3) 虐待を受けた子どものケア</p> <p>(4) 親に対するケア</p>	
2 子どもに適用される看護技術	12	<p>1 子どものヘルスアセスメントに必要な技術</p> <p>(1) コミュニケーション</p> <p>(2) バイタルサイン測定</p> <p>(3) 身体計測</p> <p>2 子どもの安全に関する看護技術</p> <p>(1) 発達に応じたプレパレーションの実際</p> <p>(2) 事故防止のための工夫：ベッドからの転落防止</p>	講義
	(2)	<p>バイタルサインの測定と身体計測</p> <p>ベッドからの転落防止</p>	演習
	(2)	<p>3 主な検査・処置に伴う看護</p> <p>(1) 子どもにとっての検査・処置体験</p> <p>(2) 主な検査・処置に伴う看護</p> <p>ア 尿の採取方法</p> <p>イ 採血時の子どもの支え方</p> <p>ウ 腰椎穿刺・骨髄穿刺に伴う介助と観察</p> <p>エ 経管栄養</p>	講義
	(2)	<p>採尿パックの貼り方 小児の採血時の支え方</p> <p>腰椎穿刺・骨髄穿刺時の体位の固定</p>	演習

	(2)	(3) 薬物療法(与薬)の看護 ア 与薬の方法と看護 イ 注射時の体位の固定と注意点 ウ 輸液の管理方法と抑制 (4) 呼吸症状緩和の看護 ア 酸素投与方法の特徴 イ 吸引 ウ 子どもに適した方法の選択(酸素テント)	講義
	(2)	採血時の支え方と腰椎穿刺・骨髄穿刺に伴う体位の保持 輸液の固定(シーネ固定)と抑制	演習
試験	1		
評価方法	筆記試験		
必須資料 (テキスト)	系統看護学講座 専門分野 小児看護学② 小児臨床看護各論 (医学書院) 写真でわかる小児看護技術 アドバンス (インターメディカ)		
参考資料	・授業資料は適宜印刷のうえ、配布する。		
履修上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、准看護師課程で学習している「母子看護」を既修学習として、積み上げる科目である。既修学習内容を復習のうえ、授業に臨むこと。 ・また、本科目は、小児看護学実習につながる科目のため、積極的な学習姿勢を望む。 ・演習は小児特有の看護技術のため、授業資料やテキストを予習のうえ、授業に臨み、積極的な態度で参加すること。 ・授業の際は、小児看護学方法論 I (疾患の治療)の授業を復習のうえ、授業資料を持参して臨むこと。 		